

グローバル・サブスクリプション・ サービス関連株式ファンド (愛称：サブスク)

運用報告書(全体版) 第9期

(決算日 2026年7月21日)

(作成対象期間 2026年1月21日～2026年7月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2022年1月21日～2027年1月20日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドの受益証券	
	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（DR（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、サブスクリプション型ビジネスを行なう企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

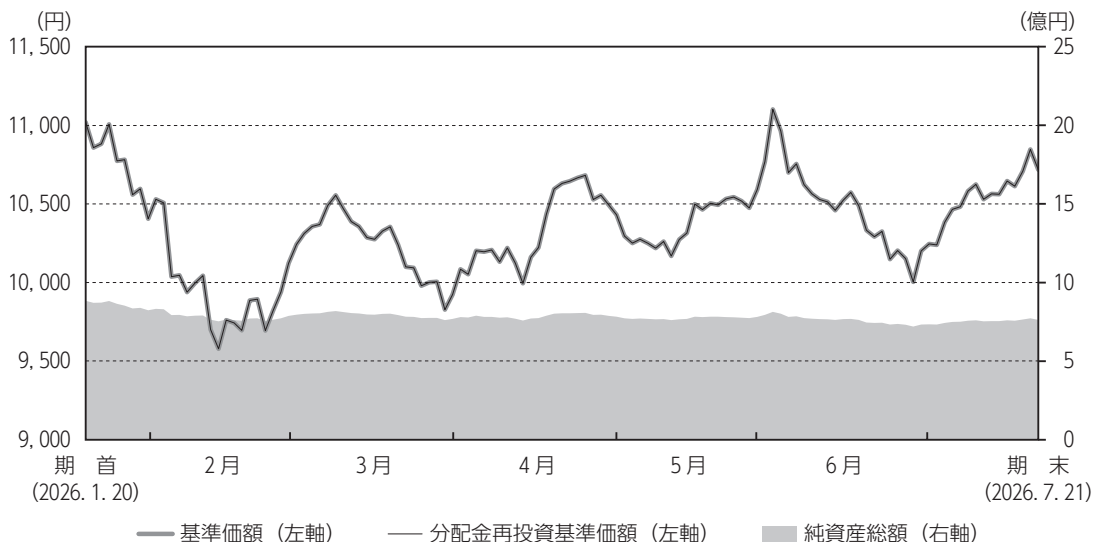
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5 期末(2024年 7 月22日)	11,715	600	9.6	16,171	20.1	95.4	—	1.7	1,220
6 期末(2025年 1 月20日)	12,097	800	10.1	16,998	5.1	97.6	—	2.0	1,197
7 期末(2025年 7 月22日)	11,830	100	△ 1.4	17,611	3.6	96.9	—	1.8	1,084
8 期末(2026年 1 月20日)	11,021	0	△ 6.8	21,193	20.3	95.5	—	2.0	882
9 期末(2026年 7 月21日)	10,718	0	△ 2.7	23,387	10.4	95.1	—	2.3	761

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：11,021円

期 末：10,718円（分配金 0 円）

騰落率：△2.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

為替相場が円安となったことがプラス要因となりました。一方で、株式市況は上昇したものの、保有している情報サービス・ソフトウェア関連株の下落などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
	円	%		%	%	%	%
(期首) 2026年 1 月20日	11, 021	—	21, 193	—	95. 5	—	2. 0
1 月末	10, 406	△ 5. 6	20, 845	△ 1. 6	94. 0	—	2. 2
2 月末	10, 122	△ 8. 2	21, 337	0. 7	95. 1	—	2. 6
3 月末	9, 923	△ 10. 0	19, 899	△ 6. 1	94. 4	—	2. 6
4 月末	10, 431	△ 5. 4	22, 208	4. 8	94. 2	—	2. 7
5 月末	10, 591	△ 3. 9	23, 292	9. 9	94. 6	—	2. 6
6 月末	10, 246	△ 7. 0	23, 488	10. 8	95. 4	—	2. 6
(期末) 2026年 7 月21日	10, 718	△ 2. 7	23, 387	10. 4	95. 1	—	2. 3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2026. 1. 21 ~ 2026. 7. 21)

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、堅調な経済指標やインフレの沈静化が好感された一方、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などもあり、おおむね横ばいで推移しました。2026年3月には、米国とイスラエルによるイランへの軍事作戦の開始やホルムズ海峡の封鎖を受けて中東情勢が緊迫化し、原油価格の急騰に伴うインフレ懸念や景気減速懸念が強まったことから、株価は大幅に下落しました。4月以降は、A I・半導体関連株への物色が強まったことに加え、米国とイランとの和平交渉の進展期待などが相場を押し上げ、株式市況は反発しました。6月以降は、イランとの一時的な和平合意成立やホルムズ海峡の通航状況改善が好感された一方、スペースXの大規模な資金調達による需給悪化懸念や大手IT（情報技術）企業の過剰投資懸念などが上値を抑え、高値圏での保合いとなりましたが、当作成期を通じては上昇となりました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて円高が進行しました。2026年2月は、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などをを受けて、円安となりました。3月以降は、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いは限定的となり、円安となりました。4月末から5月上旬には、日本政府・日銀が円買いの為替介入を実施したことで円高が進行しましたが、その後はホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高、米国とイランの戦闘終結期待を背景とした市場心理の改善、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測などをを受けて、当作成期末にかけて円安基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S. A. から助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のWin-Winの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

ポートフォリオについて

(2026. 1. 21 ~ 2026. 7. 21)

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

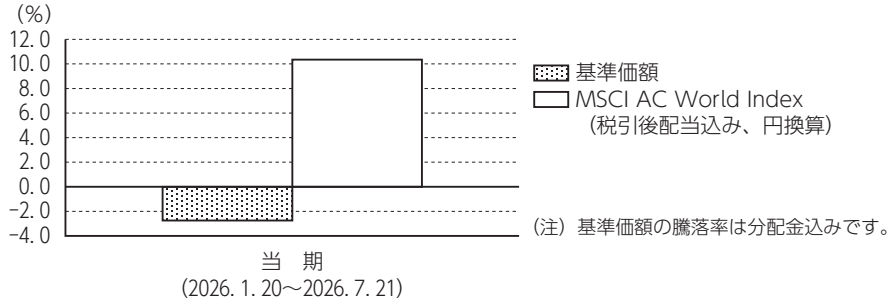
■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S. A. から助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたって、ミローバ S. A. は、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2026年1月21日 ～2026年7月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,848

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S. A. から助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のWin-Winの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2026. 1. 21～2026. 7. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	95円	0. 916%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 347円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0. 521)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 384)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0. 034	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0. 034)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
有価証券取引税	0	0. 003	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 003)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 031	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	102	0. 984	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

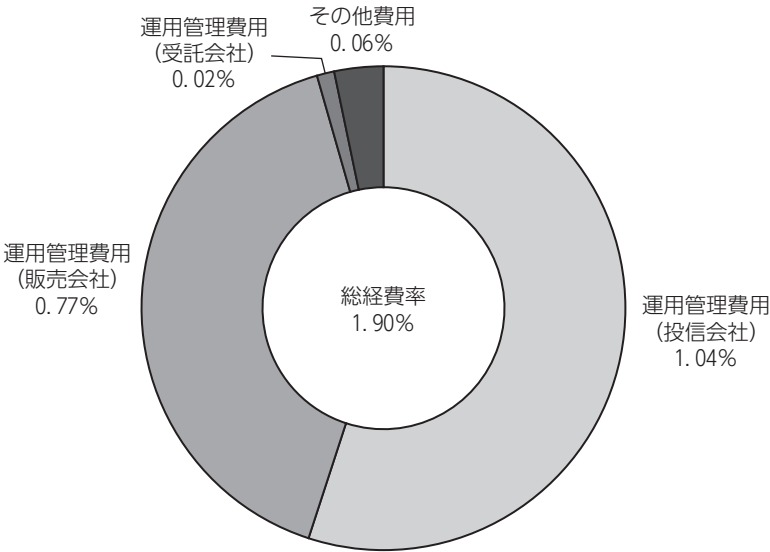
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2026年 1月21日から2026年 7月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	—	—	68,506	101,178

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2026年 1月21日から2026年 7月21日まで)

項 目	当 期
	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	283,098千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	736,431千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.38

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2026年 1月21日から2026年 7月21日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A			売付額等 C		
区分	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	97	1	1.7	186	—	—
投資証券	—	—	—	5	—	—
為替予約	66	—	—	177	—	—
コール・ローン	611	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2026年 1月21日から2026年 7月21日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	266千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2千円
(B) / (A)	0.8%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	564,602	496,096	760,614

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 7月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	760,614	98.6
コール・ローン等、その他	10,528	1.4
投資信託財産総額	771,143	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=162.55円、1イギリス・ポンド=218.42円、1スイス・フラン=200.60円、1ノルウェー・クローネ=16.81円、1ブラジル・レアル=31.921円、1ユーロ=185.55円です。
(注 3) グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (725,221千円) の投資信託財産総額 (763,314千円) に対する比率は、95.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 7月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	771,143,186円
コール・ローン等	7,828,786
グローバル・サブスクリプション・サービス 関連株式マザーファンド（評価額）	760,614,400
未収入金	2,700,000
(B) 負債	9,910,318
未払解約金	2,740,993
未払信託報酬	7,148,018
その他未払費用	21,307
(C) 純資産総額（A－B）	761,232,868
元本	710,255,668
次期繰越損益金	50,977,200
(D) 受益権総口数	710,255,668口
1万口当り基準価額（C／D）	10,718円

* 期首における元本額は801,100,117円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は90,844,449円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,718円です。

■損益の状況

当期 自 2026年 1月21日 至 2026年 7月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	13,618円
受取利息	13,618
(B) 有価証券売買損益	△ 14,377,105
売買益	5,233,237
売買損	△ 19,610,342
(C) 信託報酬等	△ 7,169,325
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 21,532,812
(E) 前期繰越損益金	45,305,747
(F) 追加信託差損益金	27,204,265
（配当等相当額）	（ 16,825,891）
（売買損益相当額）	（ 10,378,374）
(G) 合計（D＋E＋F）	50,977,200
次期繰越損益金（G）	50,977,200
追加信託差損益金	27,204,265
（配当等相当額）	（ 16,825,891）
（売買損益相当額）	（ 10,378,374）
分配準備積立金	114,457,305
繰越損益金	△ 90,684,370

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	16,825,891
(d) 分配準備積立金	114,457,305
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	131,283,196
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	131,283,196
(h) 受益権総口数	710,255,668口

《お知らせ》

■運用助言者の変更について

2026年 4月14日付で、当ファンドの主要投資対象である「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」において、運用にあたって助言を受けている「テーマティクス・アセット・マネジメント」が「ミローバ S. A.」に合併されたため、運用助言会社を「ミローバ S. A.」に変更しました。

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2026年7月21日）

（作成対象期間 2026年1月21日～2026年7月21日）

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

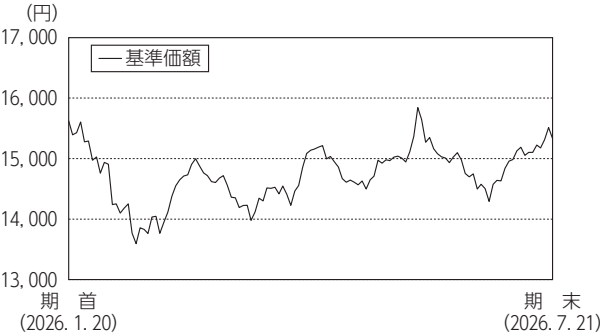
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（ＤＲ（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入	株式先物	投資証券
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	比 率	比 率	組入比率
(期首) 2026年 1 月20日	15,624	—	21,193	—	95.6	—	2.0
1 月末	14,759	△ 5.5	20,845	△ 1.6	94.0	—	2.2
2 月末	14,377	△ 8.0	21,337	0.7	95.0	—	2.6
3 月末	14,117	△ 9.6	19,899	△ 6.1	94.4	—	2.6
4 月末	14,861	△ 4.9	22,208	4.8	94.1	—	2.7
5 月末	15,112	△ 3.3	23,292	9.9	94.5	—	2.6
6 月末	14,641	△ 6.3	23,488	10.8	95.3	—	2.6
(期末) 2026年 7 月21日	15,332	△ 1.9	23,387	10.4	95.2	—	2.3

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：15,624円 期末：15,332円 騰落率：△1.9%
【基準価額の主な変動要因】

為替相場が円安となったことがプラス要因となりました。一方で、株式市況は上昇したものの、保有している情報サービス・ソフトウェア関連株の下落などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、堅調な経済指標やインフレの沈静化が好感された一方、「AI」（人工知能）脅威論による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などもあり、おおむね横ばいで推移しました。2026年3月には、米国とイスラエルによるイランへの軍事作戦の開始やホルムズ海峡の封鎖を受けて中東情勢が緊迫化し、原油価格の急騰に伴うインフレ懸念や景気減速懸念が強まったことから、株価は大幅に下落しました。4月以降は、AI・半導体関連株への物色が強まったことに加え、米国とイランとの和平交渉の進展期待などが相場を押し上げ、株式市況は反発しました。6月以降は、イランとの一時的な和平合意成立やホルムズ海峡の通航状況改善が好感された一方、スペースXの大規模な資金調達による需給悪化懸念や大手IT（情報技術）企業の過剰投資懸念などが上値を抑え、高値圏での保合いとなりましたが、当作成期を通じては上昇となりました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて円高が進行しました。2026年2月には、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などをを受けて、円安となりました。3月以降は、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いは限定的となり、円安となりました。4月末から5月上旬には、日本政府・日銀が円買いの為替介入を実施したことで円高が進行しましたが、その後はホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高、米国とイランの戦闘終結期待を背景とした市場心理の改善、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測などをを受けて、当作成期末にかけて円安基調となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S.A. から助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のWin-Winの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S.A. から助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたって、ミローバ S.A. は、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ミローバ S. A. から助言を受けます。
サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。
サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のWin-Winの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資証券)	5円 (5) (0)
有価証券取引税 (株式) (投資証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合 計	10

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式 (2026年1月21日から2026年7月21日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内		千株 1 ()	千円 3,342 ()	千株 0.9 ()	千円 3,188 ()
外 国	アメリカ	百株 46.37 (3.32)	千アメリカ・ドル 501 ()	百株 153.21 ()	千アメリカ・ドル 826 ()
	イギリス	百株 3.9 ()	千イギリス・ポンド 15 ()	百株 115.6 ()	千イギリス・ポンド 119 ()
	スイス	百株 ()	千スイス・フラン (△5)	百株 ()	千スイス・フラン ()
	ノルウェー	百株 ()	千ノルウェー・クローネ ()	百株 5 ()	千ノルウェー・クローネ 119 ()
	ブラジル	百株 ()	千ブラジル・リアル ()	百株 35 ()	千ブラジル・リアル 74 ()
	ユーロ (オランダ)	百株 ()	千ユーロ ()	百株 22.7 ()	千ユーロ 106 ()
	ユーロ (ドイツ)	百株 ()	千ユーロ ()	百株 1.2 ()	千ユーロ 8 ()
	ユーロ (その他)	百株 48 ()	千ユーロ 55 ()	百株 ()	千ユーロ ()
ユーロ (ユーロ通貨計)		百株 48 ()	千ユーロ 55 ()	百株 23.9 ()	千ユーロ 115 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資証券

(2026年1月21日から2026年7月21日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ EQUINIX REIT INC (REIT)	千口 —	千アメリカ・ドル —	千口 0.032	千アメリカ・ドル 32

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2026年 1月21日から2026年 7月21日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		株 数		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CLOUDFLARE INC CLASS A (アメリカ)	0.32	10,828	33,839	AMAZON COM INC (アメリカ)	0.43	17,285	40,199
VERISURE PLC (イギリス)	4.8	10,225	2,130	ALARM.COM HOLDINGS INC (アメリカ)	2.07	15,225	7,355
COREWEAVE INC CLASS A (アメリカ)	0.4	7,326	18,316	WOLTERS KLUWER NV (オランダ)	1.31	14,126	10,783
NETFLIX INC (アメリカ)	0.48	6,501	13,545	UNITI GROUP INC (アメリカ)	7.7	12,585	1,634
VERIZON COMMUNICATIONS INC (アメリカ)	0.79	5,658	7,163	AUTOTRADER GROUP PLC (イギリス)	9.9	11,539	1,165
MICROSOFT CORP (アメリカ)	0.08	5,362	67,027	COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	0.07	10,754	153,633
SERVICETITAN INC CLASS A (アメリカ)	0.53	5,146	9,710	PALO ALTO NETWORKS INC (アメリカ)	0.274	10,703	39,062
BROADCOM INC (アメリカ)	0.07	4,075	58,227	HUBSPOT INC (アメリカ)	0.28	8,202	29,294
ORACLE CORP (アメリカ)	0.14	4,019	28,709	RELX PLC (イギリス)	1.33	7,526	5,659
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC (アメリカ)	0.075	3,999	53,333	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP PLC (イギリス)	0.33	6,347	19,234

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)国内株式

銘 柄		期 首	当 期	期 末
		株 数	株 数	評 価 額
電気機器 (100.0%) ソニーグループ		千株	千株	千円
		7.3	7.4	25,589
合 計	株 数、金 額	千株	千株	千円
	銘柄数<比率>	1 銘柄	1 銘柄	<3.4%>

(注 1) 銘柄欄の ()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注 2) 合計欄の < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘 柄		期 首	当 期	期 末	業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額 邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル 千円	
PALO ALTO NETWORKS INC		8.4	6.36	221 36,045	情報技術
VERISK ANALYTICS INC		3.8	3.2	64 10,496	資本財・サービス
VERIZON COMMUNICATIONS INC		34.2	34.6	150 24,465	コミュニケーション・サービス
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC		4.65	5.07	167 27,190	情報技術
MSCI INC		2.75	2.5	156 25,402	金融
BROADCOM INC		3.2	3.6	136 22,129	情報技術
NASDAQ INC		22.5	22.5	206 33,600	金融
COSTCO WHOLESALE CORP		2.6	2.02	189 30,727	生活必需品

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
GUIDEWIRE SOFTWARE INC		4.6	5.8	86	14,065	情報技術
COSTAR GROUP INC		24.2	19.4	57	9,359	不動産
DEXCOM INC		21.6	20.3	153	24,975	ヘルスケア
T MOBILE US INC		7.9	8.75	171	27,826	コミュニケーション・サービス
AMAZON COM INC		4.3	—	—	—	一般消費財・サービス
HEALTH EQUITY INC		15.5	13	128	20,894	ヘルスケア
S&P GLOBAL INC		3.05	3.32	148	24,195	金融
SPOTIFY TECHNOLOGY SA		1.5	1.8	88	14,404	コミュニケーション・サービス
HUBSPOT INC		2.8	—	—	—	情報技術
ALARM. COM HOLDINGS INC		20.7	—	—	—	情報技術
PLANET FITNESS INC CLASS A		18.79	17.79	98	15,976	一般消費財・サービス
CLOUDFLARE INC CLASS A		—	3.2	87	14,170	情報技術
TOAST INC CLASS A		28	27.2	83	13,639	金融
WALT DISNEY		9.1	8.9	85	13,947	コミュニケーション・サービス
DESCARTES SYSTEMS GROUP INC		13.5	15	110	17,965	情報技術
NETFLIX INC		13.5	17.3	116	19,009	コミュニケーション・サービス
BJS WHOLESALE CLUB HOLDINGS INC		17.44	16.04	150	24,485	生活必需品
ORACLE CORP		5.6	6.05	73	11,936	情報技術
NEW YORK TIMES CLASS A		17.4	13.4	100	16,399	コミュニケーション・サービス
UNITI GROUP INC		184	107	117	19,062	コミュニケーション・サービス
COREWEAVE INC CLASS A		—	4	29	4,750	情報技術
SERVICETITAN INC CLASS A		6.43	10.43	82	13,471	情報技術
MICROSOFT CORP		5.26	5.22	209	34,134	情報技術
INTUIT INC		2	2	58	9,552	情報技術
アメリカ・ドル通貨計		株数、金額 銘柄数<比率>	509.27 30銘柄	405.75 29銘柄	3,532 <75.5%>	
(イギリス)		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
AUTOTRADER GROUP PLC		99	—	—	—	コミュニケーション・サービス
RELX PLC		46.6	36.3	91	19,964	資本財・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP PLC		13.5	11.1	98	21,441	金融
イギリス・ポンド通貨計		株数、金額 銘柄数<比率>	159.1 3銘柄	47.4 2銘柄	189 <5.4%>	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
SUNRISE N CLASS A LTD		14.2	14.2	59	11,997	コミュニケーション・サービス
SMG AG		20	20	54	10,932	コミュニケーション・サービス
スイス・フラン通貨計		株数、金額 銘柄数<比率>	34.2 2銘柄	34.2 2銘柄	114 <3.0%>	
(ノルウェー)		百株	百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
VEND MARKETPLACES		29.5	24.5	589	9,917	コミュニケーション・サービス
ノルウェー・クローネ通貨計		株数、金額 銘柄数<比率>	29.5 1銘柄	24.5 1銘柄	589 <1.3%>	

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

銘	柄	期 首	当 期	期 末	業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額 千ブラジル・レアル	
(ブラジル) SMARTFIT ESCOLA DE GINASTICA E DAN		百株 213	百株 178	358 11,432	一般消費財・サービス
ブラジル・レアル通貨計	株 数、 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	213 1 銘柄	178 1 銘柄	358 <1.5%>	
ユーロ (オランダ) BASIC-FIT NV WOLTERS KLUWER NV		百株 43.9 13.1	百株 34.3 —	千ユーロ 106 —	一般消費財・サービス 資本財・サービス
国 小 計	株 数、 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	57 2 銘柄	34.3 1 銘柄	106 <2.6%>	
ユーロ (ドイツ) SCOUT24 N		百株 7.9	百株 6.7	千ユーロ 48 9,006	コミュニケーション・サービス
国 小 計	株 数、 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	7.9 1 銘柄	6.7 1 銘柄	48 <1.2%>	
ユーロ (その他) VERISURE PLC		百株 —	百株 48	千ユーロ 52 9,654	資本財・サービス
国 小 計	株 数、 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	— —	48 1 銘柄	52 <1.3%>	
ユ ー ロ 通 貨 計		64.9 3 銘柄	89 3 銘柄	206 <5.0%>	
フ ァ ン ド 合 計		株 数、 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,009.97 40 銘柄	778.85 38 銘柄	— <91.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3)外国投資証券

銘柄		期首	当 期 末		
		口数	口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) EQUINIX REIT INC (REIT)		千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
		0.14	0.108	109	17,859
合 計	口数、金額	0.14	0.108	109	17,859
	銘柄数 < 比率 >	1 銘柄	1 銘柄		<2.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年7月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	723,897	94.8
投資証券	17,859	2.3
コール・ローン等、その他	21,557	2.9
投資信託財産総額	763,314	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝162.55円、1イギリス・ポンド＝218.42円、1スイス・フラン＝200.60円、1ノルウェー・クローネ＝16.81円、1ブラジル・レアル＝31.921円、1ユーロ＝185.55円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（725,221千円）の投資信託財産総額（763,314千円）に対する比率は、95.0%です。

■損益の状況

当期 自 2026年1月21日 至 2026年7月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,967,631円
受取配当金	3,670,746
受取利息	296,885
(B) 有価証券売買損益	△ 24,084,771
売買益	78,292,544
売買損	102,377,315
(C) その他費用	△ 224,763
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 20,341,903
(E) 前期繰越損益金	317,531,116
(F) 解約差損益金	△ 32,671,140
(G) 合計 (D + E + F)	264,518,073
次期繰越損益金 (G)	264,518,073

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年7月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	763,314,082円
コール・ローン等	20,979,821
株式（評価額）	723,897,464
投資証券（評価額）	17,859,284
未収配当金	577,513
(B) 負債	2,700,000
未払解約金	2,700,000
(C) 純資産総額 (A - B)	760,614,082
元本	496,096,009
次期繰越損益金	264,518,073
(D) 受益権総口数	496,096,009口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,332円

* 期首における元本額は564,602,869円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は68,506,860円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式ファンド 496,096,009円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,332円です。

《お知らせ》

■運用助言者の変更について

2026年4月14日付で、当ファンドの運用にあたって助言を受けている「テーマティクス・アセット・マネジメント」が「ミローバ S. A.」に合併されたため、運用助言会社を「ミローバ S. A.」に変更しました。